

たがじょう

市議会だより

平成22年度予算を可決しました。

さざんか家の家計簿

クローズアップ

一般質問

追跡レポート

校長先生とともに笑顔で卒業 (山王小学校)

No.71

平成22年(2010年)
5月1日発行

平成二十二年 度予算を

賛成多数で可決しました。

今期の議会では、二月十八日から三月十二日（会期二十三日間）にわたり、どのようにすれば、だれもが住みやすい多賀城を実現できるか、その施策や予算の配分をめぐって真剣な審議を行いました。

▲笑顔満開（週末のモリリン加瀬沼公園にて）

市長の施政方針

～基本施策は7つの柱～

平成22年度は、次の7つの重点項目を基本に市政運営を進めます。

- 地域の安全安心な暮らしを守るための環境整備
- 元気で健やかな子ども達を育む子育て支援
- 市民の力を存分に発揮できる地域環境の整備
- 産業振興と産業創造に向けたプロジェクトの推進
- 史都市心の顔づくりと歴史的文化の維持・向上
- 地球温暖化防止のための基盤整備
- 行財政改革の一層の推進

（※詳しくは、「広報多賀城4月号」をご覧ください。）

平成22年度各種会計当初予算額

単位：円

会 計 名	平成22年度当初予算	平成21年度当初予算	前年度増減	増減率%	
一 般 会 計	190億2,000万	171億9,000万	18億3,000万	10.6	
特 別 会 計	国民健康保険	52億4,000万	52億5,800万	△1,800万	△0.3
	老人保健	1,600万	3,100万	△1,500万	△48.4
	介護保険	28億700万	26億2,200万	1億8,500万	7.1
	下水道事業	31億3,550万	31億2,200万	1,350万	0.4
	後期高齢者医療	4億4,700万	3億9,400万	5,300万	13.5
計	116億4,550万	114億2,700万	2億1,850万	1.9	
水道事業会計	23億3,711万3,000	31億6,108万9,000	△8億2,397万6,000	△26.1	
合 計	330億261万3,000	317億7,808万9,000	12億2,452万4,000	3.9	

さざんか家の家計簿



今年度のわがまちの予算を年収500万円の家計にしてみると…

収入

●給料 (市税)

203万円 (212万円)



●親からの援助 (交付税・国庫支出金)

206万円 (145万円)



●ローン借入 (市債)

47万円 (31万円)



●パート収入 (負担金・使用料諸収入)

22万円 (22万円)



●預金取り崩し (基金繰入金)

15万円 (34万円)



●その他 (寄付金・財産収入)

7万円 (7万円)

支出

●食費 (人件費)

100万円 (101万円)



●医療費・教育費 (扶助費)

99万円 (70万円)



●生活費 (普通建設事業費・維持補修費)

128万円 (107万円)



●ローン返済 (公債費)

57万円 (58万円)



●子どもへの仕送り (繰出金)

109万円 (111万円)



●その他 (投資及び出資金・貸付金)

7万円 (6万円)



※カッコ内は平成21年度データ

市の借金(22年度分)

●今年度に借り入れを予定している金額は26億8,260万円で、一世帯当たりの借金額は109,534円です。

一般会計	17億7,140万円
下水道事業特別会計	7億8,960万円
水道事業会計	1億2,160万円

一般会計190億円を年収500万円の家計に例えて、市民の皆さんに多賀城市の財政状況を分かりやすくお伝えするため、『さざんか家の家計簿』を作成しました。税金がどのように使われているのかを大まかではありますがご確認下さい。

なお、親からの援助が昨年度より増額となっています。これは、児童手当に上乗せして支給される分と中学生分のこども手当の財源で、地方交付税とは異なり、使い道が決まっている特定財源です。

市民の暮らしを守る今年度予算は、

これがベスト？二十二年事業と予算の

あり方をめぐって、反対・賛成討論を行いました。



反対です！

日本共産党

藤原益栄

住民目線で施策の見直し・転換を

民主党政権下初の国予算は、生活保護の母子加算復活、高校授業料無償化など国民の要望が反映された反面、公約だった後期高齢者医療制度廃止の先送り、保育制度の改善を企む等後退面もある。

歳入では、大企業・大金持ち減税や軍事費にメスを入れないため新たな財源を生み出せず史上最大の国債発行となった。こうした予算は継続不可能である。従って市としては、国予算を積極的に活用し市民の要望に応えるとともに、財政調整基金の一定の保持が必要だ。財調は二十二年度末三億円強の見込みで不安な状況となっている。

る。

新年度予算には、地区集会所の改修補助引き上げ（二分の一から三分の二に）、民間保育所の新設・超過密状態だった城南小の学童保育の分級化、山王公民館の本館改修工事、新田南錦町線・南宮北福室線の延伸と着手、中央公園整備費の倍加、高橋雨水幹線への着手等が計上された。これらは評価する。しかし以下の問題があり厳しく批判し見直しを求める。

第一に、使える資金がよりさらになる料金引き下げが可能であるにもかかわらず、依然全国三十九位という高い水道料金を市民に押し付けようとしていることだ。第二に、企業進出が不確定な工業団地造成事業を見直そうとしないことだ。多賀城駅周辺の開発事業や中央公園整備事業など待ったなしの課題に集中すべきだ。第三に、多小の学童保育の過密状態、保育所の待機児童、国保証の百八十八件の未交付など未解決の緊急課題が

残されている。第四に、社会体育施設の民営化後、職員の流動化が激しい。他施設の民営化の前にもこうした現状の分析が先だ。

国・県から財源を引き出すことも必要だ。乳幼児医療費無料制度の充実、後期高齢者医療制度の廃止と国保への補助率アップ、特別史跡の調査・整備費の充実等を市としても国・県へ求めるべきだ。

賛成です！

多賀城自民クラブ

中村善吉

安全安心市民生活密着型で、明日の史都多賀城を目指す積極型予算

本予算は、国の財政対策を積極的に活用し、「安全安心・元氣・快適・感動」の多賀城を主軸にし

た、過去四年で最も大型である。

その主な評価・期待すべき施策事業は、先ず宮城県沖地震・防災対策、市民の生命財産を守るを最優先に学校施設及び各地区の集会所の耐震（普通）工事、老朽化した高橋跨線橋の耐震補強のための大規模改修、通学路の危険ブロック撤去への助成、更に老朽化した山王市宮住宅建替えも今秋に解決等。第二に子育て支援、待機児童解消のための私立保育所の建設補助と子ども一時預かり等保護者救済の運営補助、情操育成に「歴史と音楽のシンフォニー・シテイ事業」を開催。第三に中心市街地整備と活性化、仙石線連続立体交差事業では早期下り線の高架化、多賀城駅周辺土地画整理では当駅北地区同時再開発の推進。第四に幹線都市計画道路の整備、高崎大代線、留ヶ谷線の道路改良と新田南錦町線及び南宮北福室線整備。第五に文化財の施策、特別史跡多賀城跡調査五十周年記念として、

「発掘された日本列島展」を開催歴史的風致維持向上基本計画策定を文化財行政と一体化して推進。第六に地球温暖化防止対策、教育的目的も兼ね小中学校に太陽光発電パネルを設置する。一般住宅での太陽光発電導入に補助、市庁舎に太陽光発電を導入計画等。第七に雨水対策、中央雨水ポンプ場の耐震診断及び耐震設計、また、浸水対策では高橋雨水幹線の測量調査等。第八に水道事業、安全安心な水供給のため、浄水場他運転等包括業務委託や配水管改良による耐震性水道の構築。第九に工業団地構想、工業団地の実現に向け、県と調整して文化財の試掘調査の円滑実施を。

最後に、第五次多賀城市総合計画策定、現行本市総合計画の成果と各種団体の提案事項等を検証し、躍進する多賀城市の将来像を描く基本計画になることを願う。



国に対し意見書を!

●国として直接地方の要望等を聴く仕組みを保障することを求める意見書

〔要旨〕自治体の首長が中央政府に対し要望することは、地方の声を直接中央政府に伝える上で重要な手段です。民主党はこのほど、要望の受付窓口を党本部幹事室へ一元化し、中央省庁へは直接陳情要望活動を行わないよう要請しています。

政治を行政主導型から政治主導型に変えていくことは大切ですが、憲法第十三条、第十六条が示す国民の権利は、最大限保障されなければなりません。

よって国においては、行政府として直接地方の要望等を聴き、しっかり受け止める仕組みを保障するよう、強く要望します。

〔提出先〕衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、内閣官房長官

●ヒブワクチン及び肺炎球菌への公費助成・定期接種化を求める意見書

〔要旨〕細菌性髄膜炎は、その七十五%がヒブや肺炎球菌によるといわれています。この病気は乳幼児期のワクチン接種により予防が可能といわれ、すでに九十カ国で定期予防接種が行われて、効果をあげています。

しかし、日本では任意接種であるため、費用負担が大きく公費助成や定期接種化など、子どもたちの命を守る対策が求められています。

よって、国は細菌性髄膜炎の予防対策を図るため、

①ヒブワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチンの有効性、安全性を評価した上で、予防接種法を改正し、ヒブ重症感染症（髄膜炎、咽頭蓋炎、敗血症）を定期接種対象疾患に位置づけること、②ワクチンの安定供給のための対策を講じること。

〔提出先〕内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣

●保育制度改革に関する意見書

〔要旨〕子どもを預けたくても入る保育所が不足しています。現在民間保育所の整備に対しては「安心子ども基金」がありますが、その活用は平成二十二年度までです。どの地域においても安心して子どもが育てられるよう、国が公立保育所建設の目標と計画を明確に打ち出し、予算を組むことが求められます。

そのために、児童福祉法に基づく現行保育制度を堅持・拡充を図るため、次のことを実行するよう強く要望します。

①現行保育制度を堅持・拡充する。②保育所の最低基準を堅持する。③国は市町村が責任をもって待機児童解消に取り組むことができるよう、必要な財政支援を行う。④民間保育所整備にかかる「安心子ども基金」は、平成二十三年度以降も活用できるよう措置する。⑤民間保育所運営費補助制度を堅持する。⑥保育に格差が生じる直接契約・直接補助方式の導入を基

本とする保育制度改革は行わない。⑦子育てにかかる保護者負担を軽減し、雇用の安定や労働時間の短縮など、仕事と子育ての両立が図られるよう社会的環境整備に取り組む。⑧保育所、幼稚園、学童保育、子育て支援施設関連予算を大幅に増額する。

〔提出先〕衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、総務大臣

●年に一回車に感謝の日を設けること

〔要旨〕便利さが当たり前となり感謝の気持ちが全く見えない自分勝手、気ままな社会となりました。私の願いは、一日は自家用車を使用しないで公共交通を利用し、時間の大切さと車の有りがたさを感じ取ってほしいのです。また商店の二十四時間営業も夜は止めてほしいと思います。

●駅前開発ビルと共生について

〔要旨〕駅北側に予定されているビルに老人ホームと幼稚園が一緒に入る施設を作ってほしいです。元気な老人と幼稚園児の交流で対話ができ、思いやりのある子どもになると思います。老若男女、隣の方や施設の人々が共生できる社会を地方から提案し実行してこそ、歴史のまち多賀城と言えるのではないのでしょうか。

●プルサーマル計画に対して宮城県に慎重な対応を

〔要旨〕東北電力が申請している女川原発三号機でのプルサーマル実施について、宮城県が同意するか否かを判断するに当たって、立地市町の住民意思の把握に努めること。

請願

●現行保育制度改革を堅持し、拡充を求める意見書の提出を求める請願書

市民団体から出された請願を採択し、前記「保育制度改革に関する意見書」を国に送付しました。

陳情

市民の方から三件の陳情をいただき、本会議場で報告しました。

クローズアップ

どうする!? 地域の防災

●市と地域の取り組み

二月二十七日午後三時三十四分地震発生。同日午後六時十五分、交通防災担当職員が、津波に関する情報収集のため出勤。翌二十八日、午前九時三十三分大津波警報発令。同日午前十時十三分災害警戒本部を設置し職員を非常招集。同十時五十分「災害対策本部」を設置。同十一時十五分、鶴ヶ谷区、桜木、大代全区に避難勧告。午後一時の避難指示後、六百六十四人の市民が避難所に避難しました。この間、出動した職員、消防団員等は総勢四百八十一人。また、地域では区長や自主防災組織の方々が避難誘導や情報収集の活動にあたりました。

二月二十八日、チリ中部沿岸地震による大津波が太平洋沿岸を襲うという、衝撃的なニュースが流れました。幸い、本市の場合は、ノリ・ワカメ養殖業者に被害があったものの、重大な被害を被ることなく、事態は終息しました。しかし、今回のことは市の防災のあり方をめぐって、多くの課題を残しました。議員二十一人で構成する予算特別委員会では、このことについても話し合いました。

Q 二市三町で避難指示時刻に差が。岩手は大津波警報と同時に避難指示を発令。

今後、防災マニュアルについてさらなる検討が必要です。

A 大津波警報が出た時点で、避難指示を出すべきだったと思います。今回はよい教訓になりました。近海で地震が発生した場合、津波の時は約七百から八百キロ、時間にして約二十分くらいで沿岸に達します。早めに指示を出さないと、用意周到な準備ができません。今後は、今回の教訓を生かすよう、十分に検討します。

Q 車いす及び災害弱者から避難要請はありましたか。避難所によつては車いす等に対応できない施設もあります。車いす利用者やその他の障がい者避難救助も含め、避難所のあり方を細部にわたって検討し、行動指針を策定してください。

A 今回の場合は自衛隊に出動を要請することになっていました。要援護者の支援は、民生委員や地域の自主防災組織と連携を図りながら、障がいの程度や状況に応じ、しかるべき対応を行う計画です。車いすの件は、今後、避難所マニュアルに反映させていきます。

Q 避難警報時の広報が市民に届いていません。危険なのでしっかり届くよう周知してほしいです。また、避難所にもまちの状況がどうなっているのか、しっかりと情報を届けてほしいです。

A 今回は、市内十三基の防災広報拡声装置で十五分間隔で避難情報を流しました。また、消防車と市の現地班職員が巡回広報を行いました。しかし、うるさいとお叱りを受けたりしました。避難所への情報提供については、今後ラジオの設置を検討していきます。

写真1



このたびの津波で被害に遭われた皆さまに、心からお見舞いを申し上げます。

平成22年第1回定例会審議結果一覧

●市長提出議案26件……市長提出案のとおり、同意、可決。

人事1件、条例7件、その他2件

- ・人件擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
- ・多賀城市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例について
- ・市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- ・教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例について
- ・職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- ・職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例について
- ・多賀城市道路占用料等条例等の一部を改正する条例について
- ・多賀城市埋蔵文化財調査センター条例の一部を改正する条例について
- ・多賀城市土地開発公社定款の変更について
- ・市道路線の認定について

補正予算（7件）

- ・平成21年度多賀城市一般会計補正予算（第7号）
- ・平成21年度多賀城市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- ・平成21年度多賀城市老人保健特別会計補正予算（第2号）
- ・平成21年度多賀城市介護保険特別会計補正予算（第3号）
- ・平成21年度多賀城市下水道事業特別会計補正予算（第4号）
- ・平成21年度多賀城市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- ・平成21年度多賀城市水道事業会計補正予算（第4号）

当初予算（7件）

- ・平成22年度多賀城市一般会計予算
- ・平成22年度多賀城市国民健康保険特別会計予算
- ・平成22年度多賀城市老人保健特別会計予算
- ・平成22年度多賀城市介護保険特別会計予算
- ・平成22年度多賀城市下水道事業特別会計予算
- ・平成22年度多賀城市後期高齢者医療特別会計予算
- ・平成22年度多賀城市水道事業会計予算

契約（2件）

- ・工事請負契約について
平成21年度天真小学校校舎地震補強等（建築）工事
- ・工事請負契約について
平成21年度第二中学校校舎地震補強等（建築）工事

平成22年第1回臨時会審議結果一覧

3月30日午後1時から、臨時会を開催しました。審議の結果は次のとおりです。

●市長提出議案5件……市長提出案のとおり、可決。

- ・多賀城市地域活性化・公共投資臨時基金条例について
- ・多賀城市心身障害者医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について
- ・平成21年度多賀城市一般会計補正予算（第8号）
- ・平成22年度多賀城市一般会計補正予算（第1号）
- ・平成22年度多賀城市水道事業会計補正予算（第1号）



●写真提供者 加藤 渉さん（大代北区）

写真1

午後4時57分
水面の上昇とサスに川底の沈殿物が巻き上げられ、泥水となる。棧橋の杭が流れをせき止める。

写真2

通常の貞山運河の状況。満潮時には杭の中ほどまで水位が上がる。

写真3

貞山運河の係留船の状況。

いません。

市では引き続き、強く関係機関に撤去を要望してまいります。

A 宮城海上保安部と県の仙台土木事務所も、状況はよく分かっているようです。しかし、財源や移動先の問題があり進んで

早急に撤去してください。

Q 貞山運河の不法係留船は、津波で陸に押し上げられ避難経路を遮断したり、油漏れで二次災害を起す可能性があります。

大場源七初代市長、伊藤喜一郎第二代市長の胸像を修理保全、功績をたたえ敬仰すること

多賀城自民クラブ 吉田 瑞生

問 ①平成二十三年十一月一日の市制施行四十周年の記念事業、②今年、特別史跡多賀城跡附寺跡発掘調査五十周年の証として、次のおり大場源七初代市長、伊藤喜一郎第二代市長の胸像を修理保全し、功績をたたえ、敬仰すること。

大場源七氏の胸像のメカネが壊されて無くなっている。ごんきに堪えない。胸像を修理して敬仰するとともに、維持管理の体制を確立し保全を図ること。

伊藤喜一郎氏の胸像台座の銘板や氏名が腐食しており、文字や文面の判読が容易でない。酸性雨対策等にも努め恒常的な維持管理と保全を図り、顕彰に意を配すること。

大場市長は温故知新を語りつつ歩む。伊藤市長は大正十五年に奉職し心血を注ぐ。四十年と五十年記念の功績を証に。
答 大場源七翁の胸像のメカネが壊されたことに関しては、今後このような心ない行為が行われないよう願うものであり、モラルの向上を啓発します。

また、伊藤喜一郎翁胸像台座の銘板の腐食については、胸像は銅の合金ででき



▲伊藤 元市長 ▲大場 元市長

ており、人為的に緑青をふかせて被膜を作り、内部を外気から遮断して保護していますが、こちらも屋外に設置されているため、長年の風雨によりこの被膜が減少していくことは避けられず、メンテナンスが必要であると認識しています。

歴代首長の功績により、現在の多賀城市の発展があると認識していますので、その功績をたたえ、ともに、それを後世に伝えるため、市制施行四十周年を待たずに、早急に修理し、維持管理体制の確立に努めます。

一般質問

1 建設行政 2 第五次多賀城市総合計画策定 3 平成二十二年度当初予算案について

多賀城自民クラブ 森 長一郎

1問 多賀城市の地勢、特性を生かした都市計画において、また、市内業者の利便性に寄与するためにも、当市に建築主事の配置を求める。

答 新たに当該業務を市が積極的に行うということは、持続可能な行政経営を目指すし、適正な定員管理をしていくことと、かけ離れるものであろうと考えます。

2問 第五次多賀城市総合計画策定において、まちづくり懇談会、市民アンケート等、産学官を含め市民参加の下に経過途上であるが、各施策の受け皿となっている各市民団体・組織との整合性、対応を伺う。

答 四月から開催を予定する市総合計画審議会で、各種団体を代表する方々から多角的な視点で内容を審議、答申いただく予定です。また今後も、話し合いを行う機会を設け、しっかりと共有しながら総合計画に基づく取り組みを進めます。

3問 平成二十二年度当初予算案の一般会計総額は、「子ども手当」の財源として、多額の国庫負担金を計上しているため地方の自主財源が拡大したわけでは

ない。歳入確保のために、市債を増額発行して財源不足を補うほか、財政調整基金も取り崩している。自主財源の減少傾向について、「地方分権」、「地方主権」の立場から対応を伺う。

答 大規模工業団地構想でも示したとおり、企業誘致や産業創造に積極的に取り組み、将来にわたる自主財源を確保したいと考えます。また、これまでに取り組んできた「広告事業」などもより一層推進し、魅力あふれるまちづくりに貢献する自主財源の確保策に意を尽くします。



▲「こみゅにていプロジェクト」のようす

① 議会でも6月からクールヒスが始まります。

1 バス停の改善充実 **2** 高齢者の免許証返納時の対応は **3** 市独自の奨学金制度の充実

日本共産党 佐藤 恵子

1問 ①多賀城市東部地域は、ユーアイバスと七ヶ浜ぐるりんこ、塩釜ナビバスの運行で住民の足が確保されつつあるが、一部バス停の設置場所が利用者にとって不適切という声は依然として多い。住民の声にこたえて、七ヶ浜町とバス停移設の協議を強められたい。②吹きさらし状態にある市内バス停に屋根とベンチの設置を進めてはいかかか。

答 ①七ヶ浜町民バスの運行ルートが、



元来多賀城高校に通う高校生を対象に設定していることから、現時点での移設は難しいのではないかと判断していますが、今後地域住民の足の確保と利便性向上に向けて、七ヶ浜町とは話し合いの場を持ちたいと思います。②市内を運行するバスは、ほとんどが歩道のない住宅団地内の生活道路や幅員の狭い道路を運行しているため、上屋やベンチを設置するだけのスペースはありません。

2問 高齢者が自らの運転事故を防ぐため、免許証返納が多くなっている。事故防止のために適切な返納も重要と思うが、その際、一定の優遇措置をとってはいかかか。(タクシー、バス代の割引等)

答 もともと免許をお持ちでなく、バスをご利用いただいている多くの高齢者の方に対し、不公平であることから、現在導入については検討していません。

3問 子育て世代の親の多くが、教育費の負担軽減を望んでいる。仙台市では、国の奨学金制度利用者に対して利子補給の援助を決めた。本市も取り組まれてはいかかか。

答 現在のところ、取り組む予定はありません。

1 水道事業 **2** 多賀城跡の整備 **3** 国府所在地との交流 **4** 保健福祉センター、新図書館

日本共産党 藤原 益栄

1問 水道事業資本費平準化債の活用と償還年限は、事実上自治体の判断である。同債を活用し、六月議会に水道料金再引下げ条例を提出されたい。

答 平成二十一年第四回定例会で、水道料金引き下げが可決されたことの重みを認識しているので、六月議会で再度の引き下げをする考えはありません。

2問 ①玉川岩切線から南側の整備は市の分担となっているが、南北大路の発掘は終了済みか。②特別史跡多賀城跡の調査、整備費はともに八百万円と聞く。県に増額を求められたい。

答 ①未調査部分については、今後、全面発掘調査を実施する予定です。②県の認識・役割等に関して、今後も強く理解を求めていきます。

3問 昨年十月、東京都府中市で「第一回こくふロマン交流祭in府中」が開催され、十八自治体に参加した。本市は参加しなかったようだが、多賀城創建千三百年に向け、次回からは参加し国府所在自治体と交流を図られたい。

答 今のところ次の開催地、開催時期ともに未定と聞いています。今後、開催地等が決定次第、その主旨や事業内容及び



▲多賀城市立図書館

日程等をもとに検討します。

4問 健康福祉都市・歴史文化都市を目指し、今後十年の計画に保健福祉センターと新図書館建設を位置づけられたい。

答 第五次総合計画において、施策優先度の設定や施策の目標達成状況等に応じては、その成果をさらに高めていくための手段として、保健福祉センターの建設や図書館の建て替えを実施計画として定める可能性もあります。

一般質問の順序は抽選により行い、その順番で掲載しています。今回の定例会では14名の議員から通告があり、市政全般にわたり、市長（あるいは教育長等）に一般質問を行いました。その全員の要旨をお伝えします。

緊急時(火災)の消火栓等の 市民の活用について

自由民主クラブ 米澤 まき子

問 地震災害(火災)で最も重要なのは、初期消火であることは言うまでもなく、消防団員の不足を耳にする昨今、市民による自衛消防を組織し、消火栓接続と消火用具の取り扱いについて、使用資格の習得及び訓練等を地域住民(女性を含む)ができるようになれば、効率の良い消火が可能となるが、今後の消防活動に關して伺う。

答 地震による火災発生時に、初期消火活動が最も有効であることは、指摘のとおりです。

本市では、地域防災力を高めるため、自主防災組織への支援を行っています。消火栓を利用した消火活動については、高度な訓練により消火技術を習得した消防員及び消防団員が、防火衣等を着装し、身の安全を確保した上で消火活動を実施しています。

地域の方々による消火栓を利用した消火活動については、全国の一部地域で、自主防災組織が取り扱い訓練を行い、火災発生に備えているところもあるようですが、塩釜消防事務組合消防本部では、



▲女性による消火栓取り扱い訓練(京丹後市)

重大な事故につながることを、及び消防署・消防団の消火活動に支障を来すことが想定されるのとことですので、地域の皆様には、災害発生時においては、自分の身の安全や、地域住民の的確な避難確保等にご尽力をいただきたいと思えます。なお、消火器の正しい取り扱いについては、多賀城消防署に照会していただければ指導します。

一般質問

1 樋の口大橋の道路面すべり止め舗装、 補修について 2 友好都市について

ビジョン21 雨森 修一

1問 平成十年十二月に架け替えられた新田高崎線樋の口大橋は、開通から年月も経過している。積雪、凍結の際、滑り止め舗装の効果が低下しつつある。大事故につながることから、再度すべり止め防止策を求める。

答 樋の口大橋は供用から十年以上が経過しているため、指摘のとおり、滑り止め舗装が部分的に摩耗しています。しかし、滑り止めの効果はまだ維持されている状況ですので、路面状況の監視を続けながら、緊急を要するような部分を中心に補修を行っていきます。

なお、積雪、凍結に対しては、樋の口大橋は一番最初にバトロール等の対処をする箇所のひとつになっていますので、ご理解をお願いします。

2問 本年二月六日、多賀城市と奈良市の友好都市協定の調印式が行われ、協定書が交わされたことは誠にめでたいことである。遷都千三百年の国際観光都市奈良とのより一層の友好努力を問う。

答 奈良市とは、今後、市民間の相互交流や産業交流、観光の振興に関する相互協力など協定を交わした六項目の事業を推進しながら、友好都市の実を挙げてい



▲樋の口大橋

- きたいと思えます。
- 1 市民間の相互交流
 - 2 文化、芸術の相互交流
 - 3 産業交流及び観光の振興に関する相互協力
 - 4 歴史、教育に関する情報及び研究成果の交換
 - 5 災害時の相互応援
 - 6 その他、両市の友好関係推進に必要な事業

1 JR仙石線多賀城駅周辺の三事業について
2 (仮称)多賀城インターチェンジについて

自由民主クラブ 板橋 恵一



▲(仮称)多賀城インターチェンジ設置予定地

1問 ①仙石線多賀城地区連続立体交差事業の高架化の現在の進捗状況と、高架下の活用について。②多賀城駅周辺地区画整理事業の進捗状況と公有地の今後について。③多賀城駅北地区第一種市街地再開発事業の進捗状況について。

答 いずれも平成二十一年度末で、①約六十一%の予定となっております。高架下利用については、県と市は、高架下利用可能面積の十五%相当部分を公租公課相

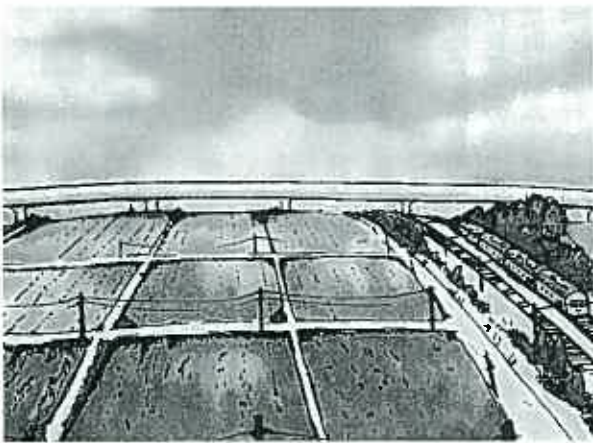
利便性の向上、安全性の確保及び情報提供に資する施設を検討しています。②約八十二%の予定となっております。仮換地指定については、JR用地、市有地の一部を除いて完了しています。なお、事業区域内で市が所有している宅地については、仮換地処分後に売却する予定です。③約二%の予定となっております。多賀城駅北口駅前広場の西側のA棟については、平成二十五年年度竣工、東側のB棟については、平成二十六年年度竣工を目指しています。

2問 ①(仮称)多賀城インターチェンジ早期整備促進総決起大会後の現況について。②文化財発掘調査についての現況は、どう推移しているのか。

答 ①市長と議長の連名による要望書を早速、国土交通大臣などの関係者に出しました。今後、さらなる要望活動に取り組んでいきます。②六十%程を完了していますが、さらに二層目、三層目の調査も必要になることが予想され、発掘経費と調査日数の多さが事業の妨げになって、事前の確認調査をする用意があることを国に伝えています。

1 市長の所信表明から
2 一本柳地区工業団地化構想について
3 施政方針から

ビジョン21 尾口 好昭



▲一本柳地区の水田

1問 ①詩都について、今や市の広報紙、市民、職員、議員と口にするものはなく、本市の歴史観について疑問視する声もある。史都から詩都へは定着されたか。②課長職の理事や副理事の扱いは、わたり給与である。月額、退職金、年金支給等、加算額を公表されたい。③県の富県戦略に呼応し、産業部門を一体化した産業創造課を設置すると言っているが未だにない。その実現化は。

答 ①市民協働の輪が着実に広がってきていることから、「史都そして詩都」へのまちづくりのイメージは浸透してきているものと思います。②級別職務分類表の規定に基づき実施しており、分類表に適合しない級へ格付けを行ういわゆる「わたり」の実態はありません。③平成二十三年度を初年度とする第五次総合計画の中で、効果的・効率的な行政経営ができるよう組織改編を検討する予定です。

2問 一本柳地区が工業用地の適地か否かは、これまでも質してきた。「県の方で一生懸命多賀城に誘致しようという流れになっている。」との答弁に対して、県の今後の対応と計画性について伺う。

答 本市に傾注した取り組みは困難ですが、知事をはじめとして十分に理解をしていただいていることから、今後とも県と連絡を密に取り、連携して取り組みます。

3問 政庁大路にコスモスの植生を評価しているが、生物多様性条約締結国として、外来植物でもあり適切な措置なのか伺う。

答 咲き終わった後には刈り取りが行われるなど、適正に管理されていることから、影響は少ないものと考えています。

一般質問

歴史教科書採択について

多賀城自民クラブ 中村善吉

本市の歴史教育方針を伺うことから、

〔当管内採択協議会では、東京書籍が採択されたが〕その前段作業の本市における教科書選定作業の結果を伺う。

1問 歴史教科書選定・採択の配慮点は、

答 歴史教科書は、学習指導要領の趣旨に沿って検定されたものであり、また、選定・採択についても、国の基準、県の指導を踏まえて行っています。

2問 本市の前段選定作業について、本市教育委員会がいかに主体性をもって本市の歴史教育にふさわしい教科書を選定したか。（情報公開資料を参考にしている問）

答 各学校から推薦書の提出を受け、選定作業を行っています。また、教育委員には、教科書の展示情報を提供するとともに各委員の日程に従って見てもらうこととしています。

3問 当管内採択協議会の会議録の情報は、

答 現在、仙台地区の採択協議会の事務局は多賀城市ですので、本市の開示請求の系統に従って開示する旨の了解を取っています。したがって、本市の開示請求の系統に従い、開示請求をしていただけ

ればと思います。

4問 本市における教科書の解釈は、

答 今回の質問の主旨である、「個別の歴史的事項について、現在使用の教科書では説明しにくいのではないか。」との指摘については、そのような懸念は無いと考えています。



▲本市が使用している教科書

一般質問

1 市政運営について

2 第六次産業の考え方について

多賀城自民クラブ 伏谷修一

1問 市長の市政運営の核ともなっている市民協働の概念は着実に醸成し、今後のまちづくりに必要なエンジンを造り上げたことが最も評価できることである。市民意識の向上と行政改革を両輪に政策に取り組み、実績については行動計画すべてを実行・実現している。第五次総合計画へ市民の積極的な参画を図るなど、次のステージへ向かう意欲を感じる。是非、二期目への胸中の思いと決意を表明すべきと考えるがいかがか。

答 「ガバメントからガバナンスへ」、いわゆる「統治から協治へ」市民と協働して市政を運営しなければならぬ時代だと言ってきました。多賀城を元気にする種々の施策も未だ道半ばの段階です。「市民一人ひとりがより良いまちの姿を考へ、主体的に活躍できる市民主役のまち」を目指して、現在の計画の実現や事業の完成が私の役目と自覚し、二期目に向け全力で邁進したいと考えています。

2問 本市の農業政策における基本的な考え方を農地の所有から活用へシフトすべきと考える。いわき市小名浜菜園等では、生産から加工販売までの全工程を第六次産業と位置づけた成功事例がある。



▲待ち望まれる中心市街地の活性化

本市の都市型・観光農業への導きになるかと考えるがいかがか。

答 平成二十二年度において、農家自立経営スタートアップ事業を新たに予定しています。環境に配慮した安全で安心な付加価値の高い農作物の生産や、いわゆる「第六次産業」をも含めた農作物の販売体制確立に向け、都市型農業、観光農業への意欲を持った農業者の育成ができるよう支援したいと考えています。

1 多賀城市の防災計画について 2 多賀城市の土地の有効活用について

多賀城自民クラブ 深谷晃祐

1問 ①多賀城市防災計画の見直し等にあたり阪神淡路大震災の教訓をどのようにいかしているか。②避難所開設マニュアル作成はどの程度進んでいるか。③避難所マニュアルを使用した防災訓練を行う考えはあるか。④避難所開設マニュアル等の作成にあたり、男女共同参画の視点をどのように取り入れているか。⑤災害時にボランティアの受入れ態勢を円滑にするために具体的な受入れ態勢整備及びマニュアルの策定をしているか。

答 ①平成十七年に、地域防災計画の震災対策編を大幅に見直しました。②現在策定中で、各避難所の管理運営については、避難所内の自治組織を中心とした住民組織の協力を得て、自主的に運営をするための調整を行っています。③六・十三多賀城市総合防災訓練において、避難所の設置運用訓練を実施する予定です。④避難所内ではプライバシーの保護や、男女の性差への配慮等を考慮した運営が必要ですので、避難所マニュアルへそれらを反映したいと考えています。⑤市社会福祉協議会で、具体的なマニュアルに相当する「多賀城市災害ボランティア体制整備計画」を作成しています。



▲大津波警報発令時の砂押川

2問 ①新田浄水場の北側の更地をさまざまな視点から検証し、子育て支援施設と養老施設並びに地域コミュニティ施設等の複合施設を建設してはどうかか。②山王市営住宅の跡地利用をどのように考えているか。

答 ①、②庁内でその活用方法について検討を始めました。複合施設の建設も含め、他の提案と合わせて総合的に活用を検討します。

1 留守家庭児童学級の過密解消 2 市社会福祉協議会の生活安定資金 3 窓口への相談室設置

日本共産党 柳原清

1問 留守家庭児童学級の過密が問題になっている。城南小学校の「もみじ学級」は、分級が決まり過密が解消される見込みだが、多賀城小学校の「すぎの子学級」、山王小学校の「あざみ学級」は、過密状態となっている。早急に過密解消を図られたい。

答 「すぎの子学級」については、他の公共施設の活用を視野に入れ、過密化解消を検討します。「あざみ学級」は、西部児童センター併設の施設ですので、今後も当該施設内の有効活用で、十分に対応可能であると考えています。

2問 昨年末から市社会福祉協議会の生活安定資金の申し込みが急増し、原資の枯渇により貸し出しを待ってもらう事態になっている。社会福祉協議会と、生活安定資金の原資を増資し、貸し出し制限をすることがないよう協議されたい。

答 これまでは、一時的に貸付金が不足することがあったとことです。市としては、円滑な貸し付けに支障を来すことがないよう、市社会福祉協議会にお願いをしてきましたが、現在、貸付原資の増額等について検討されているとのことですが、市役所収納課の窓口は、通路に面

しており相談者のプライバシーが保てない。市民が安心して相談できるように、相談室を設けられたい。

答 相談者に対応する際には、相談内容が極力他の来庁者に聞こえることのないよう、カウンターに間仕切りを設けるなどの配慮を行っています。また、相談の内容によっては、別室に案内し対応するなど、相談者のプライバシーの保護に努めています。



▲城南小学校の「もみじ学級」

教育の現状と対策について

市民クラブ 昌 浦 泰 巳

市は、来年度から（仮称）多賀城市教育振興基本計画を策定する。計画策定前の今、本市教育の現状と確かな学力向上の方策、学校教職員の負担減を図る施策等を把握するとともに、今後の教育のありべき姿を知るために質問する。

問 ①よく、授業時間が足りないと言われている。学校二期制を導入し、授業時間を増やすことが考えられるが、当局はどのように考えているか。②学校の長期休業中に、補充授業を実施する考えはあるか。③教職員経験者に正規教職員のアシスタントをお願いし、教育の負担減を図る策は考えているか。④七五三教育と言われて、小学校で七割、中学校で五割、高校で三割の児童・生徒が授業内容を理解するが、他は理解できないという現状をどう打開する考えか。

答 ①実態を踏まえ、創意工夫の下に授業時数の確保に努め、三学期制の良さを踏まえ、学習指導の充実を図ります。②昨年、東北学院大学との連携による「サマースクール」を開催しました。今後も長期休業の意義を踏まえ、「確かな学力の向上」に努めます。③現在、特別支援教育支援員を配置し改善に努めており、

昨年からは、ゲストティーチャーの活用等を協議していますので、それらを含め十分に検討し、多忙化の解消と学習指導の充実を図ります。④この課題解決には、教職員の指導力の向上が求められることから、個人研究の実践等を奨励し、資質の向上を図っています。併せて、県が進める「学力向上サポートプログラム事業」を活用して、児童生徒の意欲に基づいた学力向上を図ります。



一般質問

多賀城市の環境対策について

公明党 相 澤 耀 司

1問 国の基準年度に対し、どのような政策を考えているか。

答 国から方法等が示されていないので、動向を見ながら今後の方向性を決めます。

2問 教育現場での環境政策の実施実態は、どのようなものがあるか。

答 高崎中を除く学校に太陽光発電設備を導入しますが、既に導入した学校では、太陽光発電量モニターを活用した環境教育を行っています。また、各学校とも

学校版環境ISOを実践しています。

3問 企業対策では、どのような政策を考えているか。

答 市役所では、既に環境マネジメントシステムを導入しており、この実績を基に、市内の企業及び市民に地球温暖化防止について、啓発及び指導を行います。

4問 地域対策では、どのような政策を考えているか。①砂押川の環境、ポリ袋の廃止、騒音、大気汚染、家庭ごみ等どのように改善され、今後どのような計画を持つか。②東北学院大学工学部では、三月にバイオ新技術開発棟が完成すると

言われている。産学官の連携上から、活用をどのように考えているか。③群馬県太田市では、電気自動車を購入した、ランニングコストは、1km当たり1円と言われる。多賀城市での検討はどうか。

答 ①レジ袋の削減、家庭ごみの減量は一定の成果が上がっており、今後も徹底を図ります。騒音、大気汚染等については、今後も監視体制をとっていきます。②また、研究が開始されていないので、今後の動向をみながら考えます。③一般的な使用による情報が少ないことから、社会動向をみながら考えます。



▲エコ改修で屋上緑化

議会日誌

平成21年12月16日～平成22年3月14日

12月

- 18日 ●議会だより編集委員会
- 25日 ●議会だより編集委員会

1月

- 5日 ●議会だより編集委員会
- 8日 ●議会だより編集委員会
- 12日 ●愛知県岡崎市議会自民清風会
会派行政視察来庁
- 13日 ●埼玉県久喜市議会公明党会派
行政視察来庁
- 14日 ●文教厚生常任委員会
●議会だより編集委員会
- 18日 ●市議会議員定数等調査特別委員会
●議会運営委員会
●会派代表者会
●議会だより編集委員会
- 28日 ●文教厚生常任委員会
●議会だより編集委員会

2月

- 1日 ●議会運営委員会
- 3日 ●七ヶ浜町議会産業建設常任委員会
行政視察来庁
- 10日 ●説明会（文化センター外部化実施
計画（案）外3件）
●議会運営委員会
- 15日 ●議会運営委員会
- 17日 ●千葉県銚子市議会銚友会他
1会派行政視察来庁
- 18日 ●第1回市議会定例会（～3/12まで）
●議会だより編集委員会
- 22日 ●議会運営委員会
- 26日 ●議会だより編集委員会

3月

- 1日 ●議会運営委員会
●総務経済常任委員会
●文教厚生常任委員会
●建設水道常任委員会
- 10日 ●議会運営委員会
- 11日 ●議会運営委員会
- 12日 ●議会運営委員会



お知らせ

議会運営委員会の副委員長が、松村敬子議員から相澤耀司議員に代わりました。

次の定例会は6月です

- 議会だより編集委員会
- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 板橋 恵一 |
| 副委員長 | 深谷 晃祐 |
| 委員 | 柳原 清 |
| | 米澤まき子 |
| | 雨森 修一 |
| | 松村 敬子 |

過日、市内の街路樹の移植作業を目にしました。その時、以前友人を通して聞いた、仙台筆筒金具職人・八重樫栄吉さんの言葉を思い出しました。ご存知のように仙台筆筒はケヤキ製ですが、仙台のおおぼ通りの街路樹のケヤキは幹に石ころがたくさん刺さっていて使えないそうです。職人の方々の生計を得る道として仙台筆筒が作られた経緯を聞きながら自分たちの住む地域の文化を大切にと言われ、反省しきりだったようです。今号から、「さざんか家の家計簿」で分かりやすく解説、議会で多く取り上げられた問題に着眼点を置き、市民のみなさまに「親しまれる「議会だより」」を目指し、編集委員が誌面づくりに取り組んでおります。（米澤）

※雨森修一議員の一身上の都合により、二月二十六日付けで議会だより編集委員長が板橋恵一委員に代わりました。

編集後記



待ちの姿勢でいいのか

稲妻 大樹さん
（大学生）

第一回定例会の傍聴者は七十一人でした。議会の傍聴を終えた皆さんから寄せられた感想やご意見の中から、皆さんにいくつか、ご紹介します。議会や市政を知る方法のひとつに傍聴があります。議会だよりでは伝えきれない議会の生の姿を見聞きできます。

詳しくは議会事務局まで

（TEL）022・368・1141
（内線）311・312

私は二十歳の学生です。政治に関心をもっているため、初めて傍聴しました。議会での議論は、私たちが日常生活で常々疑問に思っていること、当然ながら密接に関係あることばかりです。残念なこと、議会は市民にとって遠いところにあると、私たち若者は、はつきり言えます。

現在、傍聴のほかホームページ、議事録等で議会のようすを知ることができます。私の勉強不足ですが、議員が市民に対して「待ちの姿勢」に感じます。市民が議会と政治に関心をもつよう、努力してください。

議員はもつと勉強を

古谷 雄太さん
（大学生）

初の傍聴です。最も興味深かったのは、一般質問で、議員の主張と行政側の見解の相違です。お互い、妥協することが見受けられない場面に、見ごたえがありました。私たちの生活を第一に考えて質問していることが実感できました。純粹に思ったのは、議員がどのような視点で発言したのか、理解に苦しむ質問があることです。

市の状況に対して、知識不足の方がおられるので、もつと勉強していたきたいと思いました。



追跡レポート

あの質問 怎么样了？



もみじ学級の様子

多くの議員が一般質問等で取り上げた問題で、市長の答弁がその後怎么样了のか？
対応を追跡しました。

Q 城南小学校「もみじ学級」
(学童保育) の定員オーバーの現状と対策について



A 空き教室等を利用した分級を検討したい。



1年～2年生までの利用

平成22年4月から城南小学校敷地内北側にあるプレハブ校舎の1階部分(3年生のみ)を利用し、分級することに決定しました。

現在市内6校のうち3学童保育の教室が定員オーバーであり、狭あい施設となっています。

決して子どもたちにとってよい環境とはいえないとの声もきかれていました。

手探り状態とはいえ、今回の分級に期待すると同時に今後ともこの課題を追跡してまいります。



3年生のみ利用の分級した教室

レポーター 柳原清記者・米澤まき子記者